

シドニー日本クラブ
第 464 号

JCS
だより

10月号
2024



チャッツウッドの日本祭りは大盛況！

日本クラブの忘年会は11月10日(日)開催です
JCS日本語学校から5人がミニスターズアワード授賞式に出席
Let'sアート●アーティストの世界観を体感
本誌の筆者の会を開催しました

理事会から

- 2024年9月定例理事会 9月4日7:00-9:00pm(ドカティセンター/zoom)
参加者:野田領事、渡部、水越、コステロ(Z)、松隈、リヒター、多田、マーン、斉藤、ホジキソン、関口(Z) (欠席:チャーカー、林、阿部、小柳)
- 会員世帯数:347世帯(一般67世帯・学校280世帯)
- 次回理事会:10月2日(水)7:00pmよりZoomにて

◆総領事館からの連絡

○外務省では、本年も例年と同様に、10月1日現在における「海外在留邦人実態調査」を実施しますところ、この機会に在留届の記載事項に変更等がないかご自身でご確認いただき、変更等がある場合は情報を更新いただくよう宜しくお願いします。

○神田領事が野田領事の後任として着任。

◆祭りin Chatswood(9月14日11時~18時)

○Bump in : 7:30am(飲食屋台)8:00am(その他の店)

○Bump out : 6:00pmから

○理事集合 : 8:30am。ボランティア集合 : 8:30am - 9:00am * JCSの赤のTシャツ着用

○VIP: 西田雄一郎総領事代理、Bernard Lauウィロビー市長代理、渡部会長の挨拶。日本人会・石川会長、商工会議所・隅田副会頭にもご臨席いただき、鏡割りを行う。

○理事の担当

本部(リヒター、マーン)アンケートを配布する
ステージ(チャーカー、多田)

ボランティア(マーン)人数集計:12・1・2・3・4時の5回
当日朝の割り振り:紅白幕8人・看板3人・ステージ前に椅子を並べる2人・ポスター掲示4人・金魚準備4人・提灯と国旗掲示その他全員

ワークショップ(斎藤)

金魚/ヨーヨー(松隈、岩佐)ヨーヨーは各理事が準備
着物(ホジキソン)

撮影:担当者なし(データアップロードはマーン)

○ボランティア説明会:9月11日(水)6:30よりZoom

小部屋:20分(本部:リヒター/金魚:松隈/ワークショップ:斎藤/ステージ:多田/写真:渡部)

○スクエアの使用:JCSの電話を使えるようにする。

○神輿のかつぎ棒:多田。神輿を担いでいる動画の撮影

○祭用具の搬出:9月13日(金)4:30pm倉庫集合

○当日の弁当の注文に関して。水は当日に調達する

◆その他

○カウラ・バスツアー(ブレイクアウト80周年記念桜祭り)
9月28日~29日。渡部会長が参加

○忘年会:11月10日(日)KURO(368 Kent St, Sydney)
2コース\$55(飲み物1杯\$15)9月中に決定し、JCSだより10月号に掲載する。(55人まで)

○WSUスピーチコンテスト審査員:10月26日(土)松隈が参加

◆学校からの報告

●シティ校:18クラス、生徒数210名、143世帯

3週間にわたって小学部13クラスのスピーチ発表会が行われました。保護者を招待し生徒の発表を聞いてもらう素晴らしい機会となりました。生徒たちは、スピーチ



の取り組みによって教科書とは、違った学びで成長したように感じます。9月1日のミニスターズアワード受賞式典では、Minister's Award賞を受賞したハリス徳仁さん、Commended賞加藤里桜さんが立派に受賞いたしました。ハリス徳仁さんは司会の一コマを日本語で行い素晴らしかったです。9月7日には、運動会を行う予定です。事前に競技練習や応援合戦の練習を行い当日に備えています。今年の運動会も親子で盛り上がることと思います。心配をしていた9月14日ですが選挙会場にならないことが確定したので通常通りの授業を行い今学期あと3回の授業を終えて無事終了する予定です。

●ダンドラス校:11クラス、生徒数140名、93世帯

3学期も半ば、恒例の調理実習が行われており、各クラスから笑顔でいっぱいの子供たちの姿が見られている。今学期最終日の運動会の準備も進んでおり、前よりも種目を増やす予定。皆が楽しみにしている。

また教員面談も進行中。外務大臣指定補習授業校になり、講師謝金支援の対象になったことで、教員からも継続に前向きな姿勢がみられる。9月からは新入生、編入生を対象としたオープンデー、体験授業の受付も開始し、学校ウェブサイトをそれに向けてアップデートしたりしながら準備をして、来年度の新しい生徒たちをスムーズに迎え入れられるようにしたい。

●エッジクリフ校:5クラス、生徒数60名、44世帯

3学期は9月の土曜日4週で終わります。他の二校は3週までですが、エッジクリフ校は4学期を8週にして、3学期を10週にしています。3学期第5週の8月24日にはJAL折り紙ヒコーキ教室を行い、子どもたちは大変喜んでくれました。(JCSだより9月号に掲載)次回は航空教室も行ってもらいたいとリクエストしました。第6週の31日には、コミュニティーランゲージスクールの連盟からエッジクリフ校の視察に来られ、学校の状況を報告しました。JCSの学校は三校ともしっかりと運営されていることを認識していると話されていました。第9週の9月21日は、エッジクリフ校単独で初の運動会を行います。校庭が狭いので、工夫をしながら競技を選んで実施します。当日まで、毎週、競技の練習や校歌の練習を続けています。

今年も大盛況のチャッツウッド日本祭り！

今年のChatswoodでの日本祭りは天気にも恵まれ、多くの方々に来場いただき大盛況でした。祭りでは、JAL社の協力を得てシドニーに到着した祭り用の子供神輿が披露されました。小さな怪我をした参加者が数名報告されたほかは大きな事故も無く祭りを終えることができ、JCS役員一同ほっとしています。祭りに参加された会員の皆さんを始め、出店された企業や出演された皆さん、そしてイベント運営に携わってくれた多くのボランティアの方々のご協力に深く感謝致します。どうもありがとうございました。出店・出展して下さった皆さんも、終日忙しくお客様の対応に追われたようです。「とても楽しい一日だった」「日本の縁日に来たみたいですごく楽しかった」など、ポジティブな感想があちこちで聞かれました。来年もまた素晴らしいお祭りができるようがんばりますので、どうぞ来年もお楽しみに！



(写真左から)公式オープニングで挨拶される西田総領事代理、ラウ・ウィロビー市長代理、渡部JCS会長。鏡割りをされるVIPの方々。



(写真左から)和太鼓りんどうの演奏。JCSと着物オーストラリアのブース。



JCSのフラアロハとソーラン踊り隊もステージで熱演を披露しました。恒例の盆踊りでは大勢の観客が一緒になって踊りました。



今年は日本から本物のお神輿がやってきました！早速、お祭りで初披露して練り歩きました。

子どもたちの人気はヨーヨー釣り！



日本のお祭りを支えてくれたボランティアの皆さんです！

日本の伝統文化のワークショップも大人気でした。



シドニー日本クラブの忘年会

今年は5年ぶりにシドニー日本クラブ(JCS)の「忘年会」を開催します。今年1年を振り返りながら、皆さんで楽しく思い出に残るパーティーにしたいと思います。なお、忘年会は、ディナーではなく、ランチです。お間違えのないように。ぜひ、会員の方に限らず、お友達にも声をかけられて、多くの皆さんで楽しい忘年会にしましょう！



日時:2024年11月10日(日) 受付11時30分 開宴12時(～2時30分まで)

場所:Gold Class Daruma (The Grace Sydney, Level 1, 77 York Street, Sydney)

会費:会員大人65ドル、子供35ドル 非会員大人75ドル、子供40ドル ※7年生(中学1年生)以上は大人料金。

※飲み物は乾杯用の一杯を用意しますが、それ以上は各人の注文となります。個別にお支払いください。

なお、ワインのお持ち込みの場合は、別途、1本につき25ドルチャージされます。

服装:スマートカジュアル

内容(予定):ラッフル抽選会、テーブル対抗トリビアクイズなど。

申込締切:10月31日までにJCS事務局まで、お名前と人数をお知らせください。

電話:0421-776-052(9時～18時) Email:jcs@japanclubofsydney.orgまで。

お申し込みはお早めに！

筆者の会を開催しました

本誌に記事を寄稿されている筆者の方々計12人が集い、8月30日(金)にArtarmonの居酒屋「Robata Jones」で筆者の会が開催されました。

この日初めて参加される方もいましたので、それぞれ担当している記事と共に自己紹介をし、おいしい食事の後に、筆者の会恒例のクイズが行われました。居酒屋は満員でにぎやかだったため、目で見て答えを書く「漢字読みクイズ」と「マッチ棒クイズ」が行われました。優勝は、今回初めての参加だった「Hiroの音楽最高」担当のTさん。おしくも2位になったのは、「外食日記」担当のOさんと、「表紙」担当のOさん。優勝のTさんには、賞品のワインが贈呈されました。(写真左)



飲んで、食べて、遊んで、おしゃべりして…、楽しいひと時となりました。最後に記念撮影をし、編集長から執筆に対する謝意が述べられ、解散となりました。

筆者は随時募集していますので、「こんなこと書いてみたい!」「書くことが好き!」という方は是非編集長までご連絡ください。マーンかおる(Email:k.murn@jcs.org.au)

Annual Bonsai Show訪問記

9月13-15日の間、ドメインのThe Garden Galleryにて開催されていた、会員の盆栽家ベネットめぐみさんが主宰するGrand Bonsai and Ikebana Exhibitionを訪れ、生花のデモンストレーションや展示を堪能して参りました。前日まで祭りで多忙を極めていた為、15日に参加したシドニーマラソンの完走後その足で会場に向かいめぐみさんに無事会うことが出来ました。会場には所狭しと素晴らしい盆栽の数々が展示されており、ホールにはデモンストレーションを見る為に集まったオーストラリア人で満席となっており盆栽や生花への関心の深さを知ることができました。ベネットさんの益々のご発展を祈念致します。(渡部)



総領事館からのお知らせ

※在シドニー日本総領事館からのメールマガジンの抜粋です。総領事館からメールマガジンが発信されていますので、こまめに最新情報を得るようにしてください。

1 領事情報

○参議院議員補欠選挙の実施（予定）

参議院議員(岩手県選出議員選挙)の補欠選挙に伴う在外公館投票の実施に関して、ご案内いたします。

告示日:10月10日(木)(予定)

国内投票日:10月27日(日)(予定)

在外公館投票日:10月12日(土)(予定)

在外公館投票時間:午前9時30分~午後5時まで(予定)

○投票に必要なもの:在外選挙人証、旅券等の身分証明書

詳しくは当館ホームページ(http://www.sydney.au.emb-japan.go.jp/index_j.htm)をご覧ください。領事班(japaneseconsulate@sy.mofa.go.jp)までお問合せください。

2 治安・安全情報

各種詐欺にご注意ください。最近、当地や日本で流行っている詐欺の代表事例を紹介します。

『ロマンス詐欺』

ロマンス詐欺とは、主にインターネット上の交流サイトなどで知り合った相手を言葉巧みに騙して、恋人や結婚相手になったかのように振る舞い、金銭を送金させるものです。犯人は、正当なマッチングサイトやFacebookのようなSNSに偽のプロフィールを作成し、他人から盗用した写真やIDを使用して被害者と交流し、互いの関係が親密になった頃を見計らい、病気や怪我、旅行費用、家族の危機などを装って、お金を要求します。

犯人は直接被害者と会うことを避けるため、兵役や仕事の都合などで海外にいと称するケースも多くみられます。また、犯人は恋愛感情を表すため、簡単なプレゼントを贈る場合もあります。

○防衛策

- ・オンラインでしか会ったこともない者に送金したり、個人情報を教えたりしないでください。
- ・相手の氏名等をもとにGoogleなどの画像検索を行うことで、偽アカウントを見抜ける場合があります。
- ・被害者が犯人に送付した被害者自身の裸の画像などをネタに、犯人が被害者を脅迫する場合も存在するため、個人的な写真や動画をオンラインで共有するときは特に注意してください。

『投資詐欺』

投資詐欺とは、投資に関する詐欺をいい、仮想通貨やヘッジファンド、未公開株、不動産の購入やこれに伴う手数料の徴収など、さまざまな形態があります。多くの場合、犯人は電話やメールで被害者に接触しますが、詐欺と見抜かれないよう、手の込んだ職業斡旋、パンフレット

やウェブサイトを作成準備しています。そしてこれらには「見逃せない」、「ハイリターン」、「元本保証」などの文言が頻繁にみられます。

いずれの場合も、投資の元本が戻ることはなく、犯人は購入等の費用を受け取った後に姿をくらまします。

○防衛策

- ・突然のオファーに対する、投資の即決は避けてください。
- ・先方がオーストラリアの金融サービスライセンスを持っているかどうか、オンラインなどで確認してください。
- ・うまい話ほど、疑ってかかるよう癖付けしてください。

「詐欺から身を守るための7か条」

- ①詐欺の可能性を常に意識すること
- ②取引相手を調査すること
- ③疑わしいテキストやポップアップウィンドウ、またはメールを開封しないこと
- ④個人情報を確実に保管すること
- ⑤異常な決済方法に注意すること
- ⑥パソコン(スマートフォン含む)を安全に管理すること
- ⑦パスワードは慎重に選択すること

※万一被害に遭われた場合、「000」に電話し、警察に届けてください。

3 日本文化関連行事

「Afternote: In the Shade of Cinema」展

(2025年3月1日(土)まで)

国際交流基金シドニー日本文化センターギャラリーにて、美術作家・志村信裕氏による山口の映画館史にフォーカスした最新作『Afternote』を紹介します。山口情報芸術センター[YCAM]のコミッションワークとして制作され同氏が監督を務めた本作品とともに、撮影された山口の映画館にまつわる記録や資料を展示し、同市内から姿を消した映画「館」の歴史を辿ります。詳細は下記リンクをご参照ください。

<https://sydney.jpjpf.go.jp/events/afternote-in-the-shade-of-cinema/>

第28回オーストラリア日本映画祭

(11月10日(日)まで)

国際交流基金の主催により、オーストラリア日本映画祭が開催されます。詳細は下記リンクからご確認ください。

<https://japanesefilmfestival.net/>

親睦の会 だより

会員
募集

シドニー日本クラブ会員の親睦と交流の集いです。和やかな雰囲気の中、和食弁当を食べながらの情報交換後には、様々な趣向を凝らした内容で楽しんでいます。遠足や野外活動も行っています。

JCSシドニー日本クラブの会員でしたら入会金は不要。年齢・性別・国籍は問いません。ビジターも大歓迎です。新しい輪を広げましょう。お気軽にご参加ください。

親睦の会役員

会長：林さゆり、副会長：ピアス康子、会計：加藤真理、事務局長：ピアス康子

ボランティア：朝比奈富美子、カーター洋子、斉藤なお子、竹内美佐子、橋本克子、ヨハンソン治子（五十音順）

■10月例会のご案内

【お待ちかね！ワークショップ】

今年5月に開催された「初級ワインテイasting講座」に続き、10月例会は「ワインと水のペアリング」をテーマにしたワークショップを開催します。

今回も上田ソムリエが登場し、「水は、どれも同じ」と思っている方々に、楽しい挑戦を仕掛けます。

ワークショップでは、ワイン2種類とミネラルウォーター4種類のペアリングを、上田ソムリエのガイドと共に愉快地学ぶことができます。

なお、上田さんによりますと、このワークショップでは、少量ながらワインを実際に口にすることがあるそうですので、あらかじめお知らせしておきます。

■日時：2024年10月12日(土)12:00～14:15

■会場：ドガティセンター

The Dougherty Community Centre

7 Victor Street, Chatswood

■持ち物：紙コップ一人当たり7個のご用意をお願いします。ワイングラスを2つ持参される方は、紙コップは5個でいいです。

■会費：(緑茶・コーヒー・紅茶・ココア、会場費込)

5ドル：親睦の会会員

10ドル：親睦の会非会員(JCS会員)

15ドル：JCS非会員ビジター

■特製和食弁当15ドル：注文の個数もお知らせください。

■マイカップ：お茶類を飲むためのマイカップをご持参ください。

■申込み〆切り：10月3日(木) A・B・Cグループの担当者までお申し込み下さい。

【訃報】

親睦の会で、楽しい時間を共に過ごした岸 正様が、2024年8月17日に逝去なさいました。92歳。心臓病を患っていらっしゃいましたが、最後は家族に見守られ、安らかに逝かれたそうです。ご生前の笑顔ばかりが、思い出されます。奥様の美枝子様からは、「葬儀は、家族で執り行いました。生前お世話になった方々へ、よろしくお伝えください。」とのご伝言を承りました。謹んでお悔やみを申し上げます。



9月10日(土)にチャッツウッドで開催された日本祭り！好天に恵まれ、日頃の踊りの練習の成果も発揮でき、日本食の屋台やワークショップなどで楽しんだ最高の一日でした。



日本の折り紙を伝えるワークショップでは、五由出さんが和服姿で、巧みな折り方を披露してくれました。観客らは、それらを見て感激していました。

JCSのクラブライフ



シドニーソーラン踊り隊

毎週土曜日に小学校の体育館で練習をしています。

私たちの踊りが少しでも日豪文化交流に結びつくようにと様々なイベントで踊ります。一緒に踊りたい方、大歓迎！お気軽に練習にご参加ください。

練習日：毎週土曜日2時～3時

場所：Cammeray Public School (Palmer Street, Cammeray)

お問い合わせは、Email: jcs.soran@gmail.com まで。

<http://sydneySORAN.wix.com/dancetroupe>



JCSフラアロハ・ハワイアングループ

JCS Hula Aloha Hawaiian Groupは、明るく楽しく美しく、生き生きと生きるをモットーに踊っています。

楽しく踊って元気になりませんか？

ご興味のある方、先ずはご連絡下さい。

見学歓迎。年齢は問いません。

練習日：毎週火曜日午前11時～12時30分

場所：Dougherty Community Centre, Chatswood

お問い合わせ：e-mail: jcshulaaloha@gmail.com Ayaまで



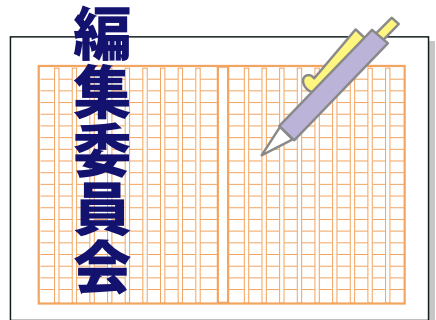
JCSソフトボール部

ソフトボール大会は毎年5月と11月の2回開催しています。2023年秋季大会2位、春季大会3位、2024年秋季大会2位。

JCSソフトボール部では女性選手を急募中です！一緒に優勝目指しませんか？家族で応援に来ませんか？興味のある方は是非、ご連絡ください。

メール：adasada@hotmail.com または、

電話：0402-048-570 (ソフトボール部部长 さだのり 安達定儀)



編集委員会

シドニー日本クラブの会報誌「JCSだより」を編集しています。会員からの投稿をお待ちしています。

また、誌面作りに興味のある方、一緒に会報誌を作りませんか？

興味のある方は是非、ご連絡ください。

メール：k.murn@jcs.org.au (JCSだより編集長 マーン薫)



教育支援委員会

シドニー日本クラブの日本語学校三校の運営に関する支援を行っています。その他、継承日本語教育についてのセミナー活動なども行っています。

お問い合わせは、以下までお願いします。

メール：jcs@japanclubofsydney.org または、

電話：0421-776-052 (JCS事務局)



晴天に恵まれ、無事に運動会を開催！



生徒たちも楽しみにしていた運動会を9月7日に無事に執り行うことができました。当日は眩しいくらいの晴天に恵まれ、最上級クラスの鳳凰組が中心となり応援団としてイベントを盛り上げる他、各競技の実施や審判、得点付けなどを行いました。また、準備から当日のイベント実施に際してイベントサポートやお当番、クラスサポートとして保護者の皆様、そして卒業生ボランティアの皆さんにも大活躍して頂き、安全に、スムーズに運動会の実施ができましたこと学校関係者一同心より感謝しております。

新入生にとっては初めての運動会。一生懸命に頑張るその姿にみんなが笑顔いっぱいになりました。本年度から新しい競技も実施されましたが企画や準備、練習にご協力頂いた先生方のお陰でとても盛り上がる場面となりました。クラスの垣根を超え、上級生と下級生でバティシステムを導入したり、学年が近いクラス合同でのイベントを実施してきた本年。その成果もあり例年以上にまとまりがあり、盛り上がった運動会になりました。赤組、優勝おめでとう！

クラス紹介 ひよこ組



ひよこ組は、新入生(入学1年目)クラスで、3歳半から6歳までの16人の元気一杯の生徒が在籍しています。ひよこ組の子ども達は、何事にも熱心に取り組んでおりこの半年でかなりの個々の成長を感じているほどです。

入学後は、まず集団行動に慣れてもらい楽しく学校に通うことから始まり、1、2学期はひらがなの学習を毎週3文字ずつ学ぶとともに語彙を増やし運筆力を高めてきました。現在は平仮名の「音」を意識した復習を行うとともに、あ行など一行ずつの復習に移行し難易度が上がっていますが、子ども達は一生懸命に取り組んでいます。

先日の運動会は、ひよこ組にとって初の取り組みでしたが、徒競争、障害物競走、玉入れ、綱引きと満載でしたが、とても楽しそうに取り組んでいました。

4学期の3週目には、クラススピーチ発表会を予定して

います。毎週の朝の会で、クラススピーチ発表会に向けて発表の練習も行っています。「僕・私」を意識してもらうために、発表テーマを「僕・私の好きな〇〇は〇〇です。」とし、〇〇にはテーマに合った答えを文章で答える練習をしています。最初は恥ずかしがって前に出たがらなかった生徒も、今では自信を持ってテーマに応じた答えを発表できるようになってきました。子どもたちが自分の思いを言葉にするとともに自信をもって発表ができるよう、引き続きサポートしていきたいと思えます。スピーチ発表会も乞うご期待ください！

(担任: コステロ・シュボン)

クラス紹介 かもしか組



かもしか組は、女子5名、男子11名の男児が圧倒的に多い活発なクラスです。各生徒の家庭で日本語を話す環境が異なるため、語彙や会話力に差が見られますが、集団行動もスムーズに行えています。授業中 熱心な生徒が多く、協力し合える、仲が良いクラスです。

1学期の始めには、授業中に無意識に英語を話す生徒がかなりおり、驚かされましたが、「かもしか組日本語で話そうスタンプ」を紹介して以来、生徒たちの意識に変化が生まれ、授業中の英語の発言が徐々に減ってまいりました。2学期の終わりには、クラスの半数以上の生徒が、1学期間(9週間)授業中日本語のみで学習し、スタンプを制覇出来ました。3学期の終わりには、3分の2以上の生徒がスタンプを制覇出来る様頑張っていて欲しいと思えます。

かもしか組の生徒は今学期始めにJCSシティ校日本語スピーチ発表会に参加しました。国語1下を学習しているクラスのスピーチのお題は「好きな動物」でした。普段、思考言語が英語になっている生徒たちにとって、自分の意見や考えを日本語で表すのは大変な作業です。作文をするにあたってまず、何を話すかを考え、それを少しずつわかりやすく纏めたり、話の順番を考える作業をしました。この段階を通じて日本語思考回路を活性化出来たと思えます。また英語で思いつく部分を日本語に変換する作業を通じて、日本語の語彙を増やす事ができ、自分の言い易い文体で文章にまとめていく事で、自発的に日本語を書く姿勢を伸ばすことも出来たと思えます。発表会当日は、みんなかなり緊張していましたが、発表後に学校からメダルを頂いた時、生徒たち皆の誇らしく清々しい笑顔がとても眩しかったです。

(担任: ケネリー千恵美)



JCS日本語学校ダundas校 JCS Japanese School Dundas

学校 Dundas Public School (85 Kissing Point Road, Dundas NSW 2117)

連絡先 PO Box 1072, Dundas, NSW 2117 電話 0411-734-819 授業 毎週土曜日 / 9:30~12:15

Email jcs-jpschdundas@live.com Web <http://dundas.japanclubofsydney.org/index.html>

3学期のメイン行事、調理実習

春らしい良いお天気が続くようになってきました。時には日差しが暑く感じるような陽気に、ついこの間まで「寒いね」と言っていたことさえ忘れてしまいます。ダundas校では3学期のメイン行事の一つ、調理実習が数週にわたり行われています。保護者の皆さんの協力を得ながら、各クラスで日本にちなんだメニューが料理されており、毎週校内の何処かしらから、実習を楽しむ賑やかな声と美味しい匂いが漂っています。

クラス紹介 かざぐるま組

今月のクラス紹介はかざぐるま組です。インタビューでは生徒に二つの質問に答えてもらいました。質問①「かざぐるま組の楽しいところを教えてください」。質問②「調理実習(ちらし寿司)の感想を教えてください」。



ファイルウッドレン:①せんせいがたのしい。②はじめてじぶんでつくったちらしずしはおいしかった。

関谷圭:①恭子先生が上手な絵をかいて日本語を教えてくださいるところ。②ちらしずし、おいしかったです。

ニーマンジェイダン:①クラフトがたのしいです。②つくるのはさんかできなかつたけれどたべられてよかったです。

ニーマンかい:①せんせいのピアノがたのしいです。②ごはんのアボカドがおいしかったです。

もりすえりん:①おともだちとあそぶこと。せんせいがピアノをひくこと。

バレーラ綺羅:①かざぐるま組の楽しいところは、せんせいのじゅぎょうがおもしろいことです。②こめとすをまぜたときがたのしかったです。こめがおいしかったで



す。

ウォングゆかり:①友達がいっぱいいるところ。②みんなで食べたのが、楽しかった。

中台昌:①おりがみが楽しい。先生のピアノとお話しが大好きです。②いろいろなトッピング(おうちでは食べられない物)があって楽しかった。

田辺まや:①きょうこ先生はやさしくて、おもしろいです。②ちょうりじっしゅうのちらしずしをつくっているなたべものをまぜるのがたのしかったです。

はなくらありさ:①今はかんじテストが楽しいです。②おいしくて、楽しかったです。

山田りさ:①かん字テストがたのしいです。②たのしかったです。ごはんのあじみがおいしかったです。



ふじ本花奈:①きょう子せんせいは、おもしろいから、クラスがたのしいです。クラスみんなで、手つだうことがすきです。

インディカはな:①かん字テストがたのしいです。なぜならかん字をおぼえられるから。②ちらしずしがおいしかったです。えびがいちばんおいしかったです。

パウデン愛依:①先生がこわい話をしてくれるところが楽しい。②みんなでちらしずしを食べておいしかった。

クラス担任 宮本恭子先生より

かざぐるま組は、男子4人、女子10人の子どもたちが、こくご一年(上下)の教科書を使い日本語を学んでいます。授業は、教科書単元に沿いつつ日本の季節の行事に因んだテーマにも取り組み、子どもたちが興味を持てるよう、ピアノを使ったり、漢字折りたたみパズルやクラフト、ミニシアターなども取り入れております。また今学期は、調理実習も行なわれました。私は、子どもたちが日本語を楽しく学べる環境作りは、教員の力だけではなく、学校、各ご家庭でのサポートが肝要だと痛感しています。幸いにしてダundas校では、保護者、役員の皆様の温かいご尽力を賜ることができますので本当に感謝しております。今後とも何卒宜しく願いいたします。

(事務:根岸)



エッジクリフ校*第1回運動会

3学期の大目玉は今回がエッジクリフ校単独で初めてとなる第1回目の運動会です！

これまで、シティ校の運動会に参加させてもらっていましたが、遂にエッジクリフ校も独立して運動会を開催することができました。まだまだ小さな学校で運営委員も3名しかいないので、何から何まで試行錯誤のなか迎えた運動会でしたが、先生や保護者の協力に助けられて大変楽しく盛り上がった運動会でした。日本の運動会を見たことがない幼児部や国際クラスの生徒たちにとってはとても良い経験になったのではないかと思います。また、年度の最後にあるお楽しみ会以外では、保護者の方達と集まり一緒に日本の行事や日本語に親しむとても良い機会でした。

来年も今年の反省を活かし、さらに盛り上がる運動会が開催できたら良いなと思っています。

クラス紹介 ひのき組

こんにちは、ひのき組です。ひのき組では5歳から7歳の11人で、毎週楽しく一生懸命日本語を勉強しています。昨年持ち上がりの子がほとんどですが、日本語でのお話がどんどん上手になってきて、勉強の成果を実感しています。

今年は濁音、半濁音、撥音、拗音に一生懸命取り組んでいます。中には発音が難しいものもありますが、書き方だけでなく、発音も合わせて練習しています。これらの文字ができるようになると、書ける言葉、表現できる言葉の幅が一気に広がり、日本語の語彙も徐々に増えてきました。今学期は語彙だけではなく、短い文章にも挑戦しています。「だれ」は「なに」を「どうする」のような3語の文です。絵を見て文を考えたり、文を作って絵で表現したりする活動を取り入れています。自分の好きなことや家族のことについて日本語で表現する練習です。授業ではインタビュー形式でみんなが発表しています。少し前までは単語で答えるだけだったインタビューも、今では文で発表できるようになりました。

今年は数字も積極的に使って授業に取り組んでいます。自分たちの人数を日本語で数えたり、子どもと大人の人数をそれぞれ数えて足し算をしています。中には

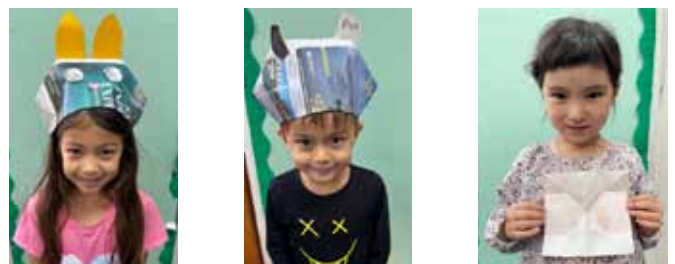


100まで数えられる子もいます。今後は時計の読み方やお金の数え方も勉強していく予定です。

3学期のテーマは世界の昔話を取り上げました。お話を聞くだけでなく、日本語で感想を言う練習もしています。面白かった、悲しかった、かわいそうだった、楽しかったに加えて、登場人物やどんな場面があったのかを日本語で説明することができます。文の構成の練習の成果がここで発揮されています。



工作もテーマに沿ったものを毎週制作しています。くちばしマスク、ピクピクねずみ、動物なりきり帽子、北風と太陽の仕掛け絵本を作りました。また敬老の日に合わせて、みんなのおじいちゃんおばあちゃんに飛び出すお手紙を書きました。作れる工作の幅も、書ける日本語の幅もどんどん広がっていて、生徒たちの成長には毎週のように驚かされます。休み時間の何気ない会話の中にも成長を感じます。



日本語を使ってできることがどんどん増えるよう、授業ではたくさん新しいことに挑戦していきます。新しいことに挑戦することは怖い時もありますが、助けを借りたり協力したりして、取り組んでいます。

ひのき組さん！この調子でたくさんの日本語と日本の文化に触れて、楽しんでいきましょう！

(担任:原 志奈)

ミニスターズアワード授賞式

毎年恒例のミニスターズアワード授賞式典「NSW Minister's AWARDS for EXCELLENCE in Student Achievement Community Languages Schools」が、9月2日(月)、New South Wales大学で行われました。

NSW州では約3万8,000人がコミュニティランゲージスクールで学んでいます。日本語は中でも特に生徒数の多い主要言語のひとつです。今年は、JCS日本語学校シティ校から加藤里桜(りさ)さん、ハリス徳仁(とくじん)くんが、ダンダス校からガノン香偉(かい)くん、ラッセル悠仁(ひさと)くんが、エッジクリフ校からリリー・コーキルさんが推薦されました。

その結果、ハリス徳仁くんがMinister's Awardを受賞！ラッセル悠仁くんとリリー・コーキルさんがHighly Commended Awardを、加藤里桜さんとガノン香偉くんがCommended Awardを受賞されました。

Minister's Awardを受賞したハリス徳仁くんは、受賞式典の司会進行をMinister's Award受賞者と分担して行い、立派に日本語でスピーチをされました。今年のアワード受賞者のみなさん、おめでとうございます！



●シニアの部

シティ校:加藤里桜

▶ Commended Award受賞

ダンダス校:ガノン香偉

▶ Commended Award受賞

●ジュニアの部

シティ校:ハリス徳仁

▶ Minister's Award受賞

ダンダス校:ラッセル悠仁

▶ Highly Commended Award受賞

エッジクリフ校:リリー・コーキル

▶ Highly Commended Award受賞



加藤里桜(シティ校)

ハリス徳仁(シティ校)

ガノン香偉(ダンダス校)

ラッセル悠仁(ダンダス校)

リリー・コーキル(エッジクリフ校)



司会進行を務めたシティ校のハリス徳仁くん(右)



式典後に、受賞者とクラス担任、ご家族、JCS日本語学校三校の運営委員の皆さんで記念撮影

総領事館からお願い(在留届の提出)

外国に3か月以上滞在する日本人は、最寄りの大使館や総領事館等に「在留届」を提出することが義務付けられています。大規模な災害が発生した場合など、当館では、オーストラリアの関係当局に連絡を取って邦人の被害について確認をする一方、在留届を確認して該当地域にお住まいの方に、直接ご連絡して安否を確認することがあります。在留届は、このような災害時の安否確認にも使用いたしますので、届出内容に変更(住所や同居家族の変更等)が生じた場合には「変更届」を、帰国の際には「帰国届」をご提出いただくようお願いいたします。

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/RRnet/index.html>

クルーズ船 Queen Mary 2

この写真はCunard社の大型客船 Queen Mary 2号です。2013年に初めてのクルーズ旅行で乗船したお船で、私にとっては記念のお船なのです。南半球のオーストラリアでは、毎年夏の時期に世界中からクルーズ船がやってきます。家のバルコニーからシドニー湾が望めるのですが、毎日のようにクルーズ船の出入りを眺めているうちに、いつかはあのお船に乗ってみたいなあ…などと夢見ていた次第。それがついに実現したのが2013年のニュージーランド一周の船旅で、それ以来、毎年のようにクルーズ旅行に出かけ、Cunard社の三姉妹、Queen Mary 2、Queen Elizabeth、Queen Victoriaをはじめ、いろいろな船に乗船してきました。

クルーズの魅力はなんといっても非日常の世界に浸って、リラックスできることです。私にとっては本を何冊も持ち込んで、ゆっくり読書に勤しむのが一番です。そんな楽しいクルーズ旅行を知るきっかけとなった Queen Mary 2には感謝です！（游）



自分にとって忘れることのできない写真、いつも飾っている思い出の写真、二度と撮れないシャッターチャンスの写真、大好きな人・有名人・尊敬する人との記念の一枚…など、My Favorite Photoを文章とともに送ってください。



ここが気になる



狭すぎる車のレーンと駐車スペース

SUV車を購入しました。前に乗っていたコンパクトカーでは気にならなかったのですが、車のレーンが狭すぎる！先日、レーンの真ん中を走っていたはずなのに、隣のレーンを走るB1バスにクラクションを鳴らされてしま

いました。B1バスの幅、レーンの幅とほぼ一緒だから隣隣の車にあたってもおかしくないかと心配していた矢先の出来事です。そして、駐車場スペースも狭い。ドアを開けると、相当注意しないと隣の車にあたってしまいます。あるTeslaオーナーが、隣の車がドアを大きく開きすぎて自分の車を傷つけたとあって、ナンバープレート付きの動画をFacebookに投稿していました。Teslaの撮影する動画の精度を自慢するためという印象も受けましたが、Name&Shameをしたいと…さらにたちが悪いと思ってしまう…。Teslaオーナーに賛同して、隣の車のオーナーを非難するコメントは百以上。急いでいたらこんなことも起こりうるかと思えます。誰かを非難するというより、非現実的といってもよいほど狭い車のレーン、駐車スペース問題を解決してもらいたいものです。



出店・出演・ボランティア募集中！いますぐサイトをチェック
www.matsurisydney.com

Apply For
VOLUNTEER

Application closes on 31 October

Apply For
STALL

Application closes on 15 October

Apply For
PERFORMER

Application closes on 15 October

日本の祭り開催
毎年ダーリングハーバーで開催
されていた日本の祭りが、新会場
で5年振りに開催します！

復活

手抜き の女王



お掃除用具も日々進化中！

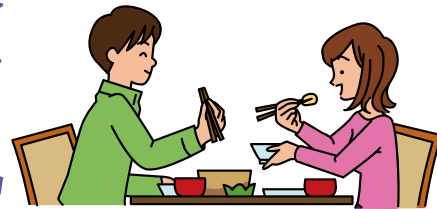
二階まで掃除機を運ぶのが面倒になって来たので、少し前に二階専用のスティック掃除機を購入しました。軽量で、手軽に取り出してすぐ使えるところがとても便利。バッテリーの持続時間も約30分と、ちょうどいい長さで、やりすぎないのも良いです。試さずにネットで買ったので少し不安でしたが、意外と使いやすく、今では一階の掃除にも使っています。特にキッチンやダイニング、ラウンジなどは汚れやすく、掃除機の出番が多いです。結局、二階用に買った意味ないですよ。

ちなみに、モップ掛けはたまにしかしません。 「SupaDry Spin Mop」という遠心力で水を切る回転モップを愛用しています。このモップはバケツの水が溜まる部分にも回転機能がついていて、洗浄やすすぎができる優れものです。

長く大事に使うのも良いことですが、掃除用具はどんどん進化していて、ますます便利になっています。本当にありがたいことです。



外食 日記



Pinocchio's Allawah

住所: 440 Railway Parade, Allawah NSW 2218

電話: (02) 9587-3270

予算: \$25

営業時間: 日~木 17:00-21:00、金・土 17:00-21:30

雰囲気 8、料理 9、サービス 8



今月はAllawahにあるイタリア料理です。Allawah駅前に飲食店は多くありませんが、以前からチェックしていたレストランです。ランチ時間帯は営業せず、毎日午後5時開店なので、タイミングを見計らって訪れました。6時頃に入店すると、半分以上の席が埋まっていた、店の奥の少し暗いテーブルに通されました。

パスタからBoscaiola (ベーコン / マッシュルーム / ガーリック / ネギ / クリームソース)をスパゲッティ(他にペンネ、フェットチーネ、ニョッキから選べます)で、ピザからMarinara (エビ / イカ / ムール貝 / ガーリック)をオーダーしました。ピザはエビを中心に具材が生地の上には埋まっていた、食べ応えがありました。パスタはクリームソースが濃厚で、ベーコンがスモーキーで美味しかったです。どちらも十分な量がありました。個人的にはパスタの方が気に入りました。



Installation view of Lee Ufan 'Relatum - to heaven road' 2024 as part of the 'Lee Ufan: Quiet Resonance' exhibition at the Art Gallery of New South © Lee Ufan, photo © Art Gallery of New South Wales, Felicity Jenkins

アーティストの世界観を体感しませんか？

皆さん、美術館では作品をただ目で見るだけではなく、体の五感を使って楽しむことができることをご存知でしたか？

現在、Naala Nura(南本館)一階のアジア・ランタン・ギャラリーでは、「Lee Ufan(リ・ウファン)Quiet Resonance(静かなる共鳴)」が開催中です。空間と作品が呼応する中で、鑑賞者である私たちが静かに思索する時間を体感できます。韓国、日本、フランスを拠点に活動する国際的なアーティスト、リ・ウファンは、1960年代後半から「もの派」と評される現代アートの動向において中心的な役割を果たしてきました。作家、哲学者、詩人でもある彼は、何もない空間の中に置かれた自然石とスチールなどの人工物の組み合わせによって、自己を見つめ、考察を促す彫刻などで広く知られています。今回の展示では、NSW州の自然石を使った新作を含む、全8点の彫刻と絵画が展示されています。リ・ウファンが作りだす空間に、鑑賞者が足を踏み入れることで、その雰囲気はどのように変わり、私たちに何をもたらすのでしょうか。

また、Naala Badu(北新館)地下4階のタンクギャラリーでは、人と自然界とのつながりを視覚と聴覚とで体感できます。シドニー生まれの現代アーティスト、アンジェリカ・メシティによる、7つのスクリーンを使った大規模な没入型インスタレーション「The Rites of When」。第二次世界大戦で使用された燃料貯蔵庫を、美術館の一室としてよみがえらせたタンクギャラリーでの五感を使ったア



Angelica Mesiti 'The Rites of When' 2024 (video still), 7-channel digital video installation, colour, sound, approx 30 min, collection of the artist, commissioned by the Art Gallery of New South Wales for the Tank, 2024 © Angelica Mesiti

ート鑑賞をどうぞお見逃しなく！

日常の喧騒から離れ、言葉や写真では伝えきれないアーティストたちの世界観を体感しに、美術館に足を運んでみてはいかがでしょうか。いずれの展示も無料にてお楽しみいただけます。日本語ハイライトツアーも毎週実施しています。

(NSW州立美術館日本語ボランティアガイド：浜田千恵)

「リ・ウファン Quiet Resonance」開催中

2025年9月まで

Naala Nura(南本館)地上階アジア・ランタン・ギャラリー

「アンジェリカ・メシティ The Rites of When」開催中

2025年5月まで

Naala Badu(北新館)地下4階タンクギャラリー

特別展「マグリット」

10月26日(土)より開催(有料)

Naala Nura(南本館) 地下2階 ※日本語ガイドは11月3日より2025年2月2日までの毎週日曜実施(年末年始の12/22-1/5除く)詳細は美術館HPをご確認ください。

無料日本語ハイライトツアー

*Naala Badu(北新館)

毎週日曜日13:00開始、集合場所：エントランスパビリオン

*Naala Nura(南本館)

毎週金曜日11:00開始、集合場所：インフォメーションデスク付近

いずれもツアー時間は約45分、予約不要です。直前に変更等の可能性もありますので、美術館のウェブサイトをご確認の上ご参加ください。皆様のご来館をお待ちしています。

Art Gallery of New South Wales

Art Gallery Road, The Domain 2000 Phone: (02) 9225-1700
毎日10am~5pm. 水曜のみ9時まで(アート・アフターアワー)
Web: www.artgallery.nsw.gov.au

ニューサウスウェールズ州立美術館。常設展示場無料。
本連載は美術館の日本語ボランティアガイドが担当。
件名「Japanese Tour」で、Eメールでの日本語での問い合わせ可。
Email: volunteerg@ag.nsw.gov.au



海のはじまり

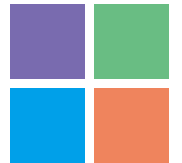
出演: 目黒連、有村架純、大竹しのぶ、泉谷星奈他
放映: フジテレビ
(2024年7月1日~9月23日)
★★★★☆

大学時代の恋人だった水季(古川琴音)の訃報を受け、月岡夏(目黒連)は同級生と共に葬儀に参列する。そこで出会った少女・海(泉谷星奈)が水季の娘であることを知り、夏は驚く。後日、水季の母(大竹しのぶ)から、海が夏と水季の間に生まれた子どもだと告げられる。当時、水季の妊娠が発覚したが、水季は中絶を選択し、夏は悩みながらも同意した。ほどなく、水季から一方的に別れを告げられ音信不通になってしまった。それから7年、恋人(有村架純)との関係も順調で夏は平穏な日々を送っていたが、水季が自分の知らないところで子どもを産み、育てていたことを知り、衝撃を受ける。水季と海が過ごした7年間に思いを馳せる夏の心は揺れ動く。それぞれの家族や親子の愛情が描かれ、誰もが優しい一方で、どこか切なさも漂う。娘を亡くした水季の母が、夏に対して抱く複雑な思いを大竹しのぶが見事に演じている。

観賞

★5つ星評価

JCS アートレビュー



書籍

2018年、第159回直木賞受賞作。父親を刺殺し逮捕された女子大生と事件を取材する臨床心理士。それぞれの周辺人物を通じて、現代社会における家族の闇を描く。最初「ファーストラヴ」というタイトルから、甘く切ない恋愛小説なのかと思っていたが、全く違

った! ミステリーだった。親からの愛情や異性からの尊重を全く受けられなかった環菜にとって「ファーストラヴ」とは何だったのか? 抑圧され歪んだ環境で育った環奈が、法廷でようやく自分の言葉を持てたことはよかった。ただ、個人的には登場人物に感情移入できなかったもので、5つ星じゃなくて4つ星にしておく。ドラマ化、映画化もされているので、それらも併せて見ながら読むとおもしろいかも。



ファーストラヴ
著者: 島本理央(しまもとりお)
発行: 文藝春秋 2018年
★★★★☆



Blue Electric Light

アーティスト: Lenny Kravitz
★★★★☆

1989年にデビューし、そのロックとソウルをミックスした独特なスタイルで世界的に数々のヒットを生み出してきたLenny Kravitzの12作目のアルバム。そのスタイルは35年経った今も変わらず、ヴォーカルのパワーやファンクなリズム、強いビートは衰えない。今回はほとんどの楽器を彼が演奏し、自宅のスタジオでレコーディングしたという。2曲目のTK421はファーストシングルで踊り出したくなるようなリフとリズムは秀逸。3曲目Honeyの落ち着いたソウルな曲調から4曲目ではParalyzedのヘヴィーなロック調。Talk Boxというギターの装置を使ったソロはカッコいい。そして5曲目のHumanは2つ目のシングルで軽やかなダンス調。全般的にファンクロックとソウルが多様な音で表現されている。ビルボードで11位となっている今作は彼のファンにとっては期待を裏切らない嬉しい内容。

音楽



【第251回】 Beware of powerful thunders

北半球の猛暑と風水害に見舞われた夏が過ぎ、間もなく南半球が同様或いはそれを凌ぐ暑い夏を迎えることが懸念されます。種々発せられている暑い夏における注意事項の中でも、一押しで注意喚起を呼び掛けたい対象が『thunders』(以下「雷」と表記)対策。それというのも異常気象に伴う警戒すべき事象中でも、一過性でかつ短時間で終了する容易い印象を持たれている感が強く、当然の帰結として重大事故に繋がる警戒感低下が否めません。実際に登山中不運にも巡り合ってしまった経験からすると、下から加速度的に速度を速め距離を詰めて迫る雷鳴に追い立てられ、然も傾斜し歩き難い登山道に苦しみながら避難小屋に逃げ込み、間一髪落雷を振り切った恐怖は強烈なものでした。命に関わる雷の恐怖に遭遇してから半世紀以上が経過し、温室効果ガス増加に関連する温暖化も不可逆的に増進し、しかも加速度を速めています。明らかに観測される雷の威力も、年間を通して発生する頻度及び地域ともに増大しています。『地震、雷、火事、親父』の格言通り、頻発する雷災害に対する有効十分な啓発活動が求められます。

晴天の霹靂(へきれき)とは、青空に鳴り響く雷鳴を指します。晴天下に発生する雷に対しては、通常の観測機器での捕捉がほぼ不可能となりますが、大気中における気温及び湿度そして風といった気候要素が混じり合うことで雲塊を生じ、それらを目視することも可能となります。やがて雲塊が円筒形をなして急速に成長を始める

と、『雷雲』、『入道雲』、『積乱雲』と等と呼ばれる、一定の高度を底に回転を保持したまま成層圏に向けて急激に成長する、パワフルな雲塊へと成長を始めます。一見して見分けが付き『雷雲』としての成長度合いは、緯度によりかなりの違いが見られ、赤道付近で16kmと最も高く、一方シドニー等の中緯度地帯では8km程度と低くなります。回転で形状保持する『雷雲』は、上昇につれ中心分の気圧を下げ、周囲から流れ込む大気をエネルギー源として猛威を振るいます。

熱帯で発生し回転を続けながら移動する低気圧となると、『雷雲』の要素を全て然もより強力に保持する『台風』、『サイクロン』、『ハリケーン』の三大熱帯低気圧(以下『三大熱低』と表記)と同種。共に気象災害を引き起こす凶暴さを持ち合わせ両グループの間を分ける基準も単純明快、唯一中心付近の瞬間最大風速の違いのみ。因みに熱帯低気圧から台風への名称変更は、中心付近の瞬間最大風速が『秒速17m』と決められています。また温暖化の影響は、当然ながら『三大熱低』にも明らかに見られ、世界的にサイズ及び風速の両要素における危険度が増大しています。オーストラリアを襲う『サイクロン』も、今後大型化した場合シドニー迄到来するまさかも想定しておく必要があります。そうすると深刻な洪水を引き起こす『線状降水帯』の常態化も危惧されます。

更なる注意すべき事項として、『三大熱低』により引き起こされる要警戒事項として、竜巻等も引き起こす『ゲリラ雷雨』と命名された、比較的狭い地域に集中砲火の如く降り注ぐ雷雨群にも要注意。『サイクロン』本体から相当離れた地域での発生も十分想定され、例えばブリスベン付近に中心がある場合、かなり離れたニューカッスルからシドニーを挟みカイアマ辺りまで、広範な域まで無差別に雹を伴う雷雨に見舞われ、ワラバンガダムからの放水に関連する深刻な洪水への対策も怠れません。幸いシドニーは、地震にほぼ無縁で危険を感じませんが、ブッシュファイヤーやそれと真逆の水難への対策が必須です。来るべき暑い夏への備えをくれぐれも怠りなく。

スポーツ天国

No. 180

ムーンベアーズ選手募集!

シドニーで活動している日系人主体のラグビーリーグのチーム「MOONBEARS」が選手を募集しています。定期的にテストマッチや日本代表サムライズへのサポートも行っています。

興味のある方は、電話(0437-048-244)、インスタグラム(japanrugbyleague_australia)からコンタクトお願いします。(ぴか)

日本ムーンベアーズラグビーリーグクラブ
日本ラグビーリーグ
NRLラグビーリーグにより
公式に承認されています

ラグビーリーグ
に挑戦しよう!

ムーンベアーズとは?

私たちはオーストラリアを拠点とする日系人主体のラグビーリーグのチームです。日本ラグビーリーグとの連携により、ムーンベアーズは、選手層が厚く、日本代表のサポートを行うべく準備を進めています。また、アジア選手権のため、トレーニング、および試合を開催する場として機能します。

0437048244 | japanrugbyleague_australia

会員の皆さんからの情報も受け付けています。Eメールは、kenerit@gmail.comです。よろしくお願いします。(ぴか)



実証! インスタ便利術

気が付くとインスタを見ているという日々を過ごしていたら、私の苦手なお掃除の便利術に遭遇しました。アテンションスパンが8秒というインスタ世代の興味を引くだけあってキャッチーで分かりやすい。こんなに簡単な方法で実際に家がきれいになるのか?!と嬉しい一方で、不安も。とはいえ、情報過多な世の中を生き抜いてきたインスタ世代、情報精査はできているはず。人気の投稿は役に立つものに違いない!と強く信じ、掃除をはじめとした諸々の便利術を実証していきたいと思います。

第4回 吸盤をキープ

スマートフォンが話を聞いているのではないかという質問をよく聞きますが、設定によっては、聞いています。最近は何か困っていることがあって、誰かに話すと、インスタのフィードに出てくるようになりました。個人情報搾取を懸念する声もありますが、膨大な量のデータの中から自分のデータを抜き取られる可能性はまだ大きくない…と信じたい…し、セキュリティソフトをインストールしているので、便利さを優先したいのが現状。今回は、スマホの見せてくれたいくつものフィードの中から、夏に向けて役立つとても簡単な便利術をご紹介します。

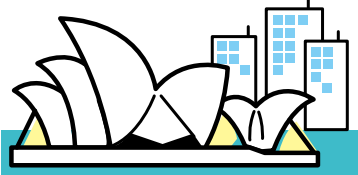
以前運転していた車では、スマートフォンホルダーを吸盤でフロントガラスにつけ、Google Mapをナビゲーションにしていました。ところが、暑い夏には、スマートフォンホルダーが何度も落ちてしまい、最悪クーラーの冷気の出口にスマホを置いてGoogle Mapをチェックすると

きも。前が見られず、穴に気づかずに危険な目にあったこともあります。そんな時、インスタで見つけたのが吸盤を湿らせてから吸着させる方法。暑い日でもスマートフォンホルダーが落ちなくなりました。

吸盤は、バスルームでも掃除道具をつるすのに利用していて、何かと便利。常に湿気を保って様々な場面でぜひお役立てください。



シドニースケッチ



レッドリーフ・ビーチ

先日、シドニーの東部郊外にあるダブル・ベイ (Double Bay) のウーララ・ギャラリーに行く用事がありました。こちらの方には何度か通ったことがあったのですが、ビーチまで行ったことが無かったので、今回は早目に行って下にあるビーチまで散歩してみようと思いました。

レッドリーフ・ビーチ (Redleaf Beach) 近くには、ヨットの係留場があり、ヨットが浮ぶ素敵な海の景色が楽しめます。そこにあるプール、オーストラリアで最も尊敬されているオリンピック選手の一人を称え



て名づけられたマレー・ローズ・プール (The Murray Rose Pool) は、歩行可能な栈橋がぐるりと浜辺を囲み、誰でも水の上を歩くことができます。

この日はビーチサイドのCafeに座って、ゆっくりとコーヒーを飲みながら、天気に恵まれた最高の景色を眺めて気持ちの良い朝を過ごしました。



仏教語からできた 日本語 その218

渡部重信
sydneyhongwanji@gmail.com
浄土真宗本願寺派[西本願寺]
オーストラリア開教事務所長



法律Q&A 弁護士に 聞いてみよう 202

主任弁護士 林由紀夫 (H & H Lawyers)

随喜(ずいき)

「随喜」という言葉は近頃ではほとんど使われないので知る人も少ないかもしれませんが、以前は時に「随喜の涙を流す」など、目にしたり耳にしたりしたものです。

ところで、本来「随喜」とは他の人の行った善行や福德をその人の心情に随(したが)って喜ぶことです。仏教においては「慈悲」と並んで、あるいはそれ以上に重要な徳目とされていますが、一般には慈悲ほど注目されておらず、その真意や重要性はあまり知られていません。

しかし、随喜は身近なことがらについて言っています。私たちは、電車でお年寄りに席を譲ったり、災害への募金を行なうなどの善行を見聞きする時、嬉しい気分になるものです。知らないうちに彼らの善行を随喜しているのです。ところが、その行為の程度が自分にはできそうもない並外れたレベルになると、驚嘆することはあっても随喜することは難しくなってきます。ましてそれが仏陀や菩薩などの超人的な善行や事績であればなおさらです。自分にはできそうもないとして当事者の心情から離れてしまうからです。

仏教では、たとえ仏陀や菩薩などの善行や事績であろうとも、それを随喜することが善行として勧められています。他者の行った小さな善行から仏陀や菩薩などの善行まで、それらを具体的な形で自分の心に想い、善行を行った人たちの心情に想いを馳せながら随喜する時、自らの善行になるのです。しかも、この随喜による善行は、自分自身でそれを行った以上に大きな福德があるとされています。私たちは、何かを行う場合、自分がそれを実際に行なうかどうかを重視しがちです。しかし、他の人の善行を随喜するには、自分と他者の壁を取り払って他者のことを喜ぶことが求められるため、自分で実際に行なう以上に心を成長させることができるのです。

随喜にはもう一つ大事なことが伴っています。一つの善行は他の者たちによって随喜されても、その善行はなくなったり減ったりせず、多くの者たちに共有されて増大し尽きることはありません。それは一つの灯火から次々と灯火がともされても、その灯火は消えたり減ったりせず、増大して尽きることはない(無尽灯)のです。

是非、日々の生活の中で随喜できるよう努め、心を豊かにしていきましょう。

合掌 渡部

Q:結婚して5年になる娘夫婦が自宅購入にあたり資金援助を求めてきました。娘の夫は去年の浮気騒動や言葉の問題などもあり、私自身あまり信用していません。また、日本に住んでいる私の父からも一部資金援助をしてくれないか頼むつもりです。どのような問題が起こり得るでしょうか？

A:のちのトラブルを回避するために、資金援助はどのような主旨により行われるのかを明確にしておく必要があります。資金援助には贈与、または貸付金(ローン)の二つの方法があります。以下に問題点を示します。

贈与の場合

* オーストラリアには贈与税はありませんので、贈与する方・受ける方、共に税務負担は起こりません。ただし、日本在住のお父様の場合には、日本の贈与税の対象になる可能性がありますので、事前に専門家のアドバイスを受けて下さい。

* 誰に対し資金を贈与するのか書面で明らかにしておくことも重要です。もし資金援助を誰に対してしたかを明確にせず、夫婦両方にしたとみなされてしまうと、例えば離婚の際の自宅に関する婚姻財産の分配に関し、娘さんは相談者からの資金援助の恩恵はなんら受けられないこととなります。もし、明確に娘だけに資金援助をした場合には、その額が住宅購入に関し娘による資金的貢献とみなされ、婚姻財産分配が有利になる可能性があります。ちなみに、婚姻財産分配については、その取得に関しお互いどれだけの貢献があったのかが一つの重要な要素となります。

* 資金を贈与した場合、相談者の経済状況がどう変わろうと、その資金を法的に返してもらうことはできません。

ローンの場合

* 資金を貸し付けた場合、娘夫婦が離婚することになっても、返済を求めることができます。ローンは無利子で、いつでも必要に応じて返済してもらう(Payable on demand)という条件でも構いません。(ただし、お父様がそのようなローンをした場合、日本の贈与税が適用される可能性があります。)

* 夫婦連帯で貸し付けるのが良いと思われます。

* 相談者の経済状況が変わり将来資金が必要になるようなことになっても、返済を求めることができます。

* ローンの額にもよりますが、夫婦が購入する家を担保として取ることも可能です。ただし、住宅ローンを組む場合には銀行が担保を取るのが一般的です。

* 言うまでもなく、ローンの場合にはそれ相応の契約を結ぶことが重要です。

●今月の表紙 Hutt Lagoon Pink Lake WA

一部の藻が日光によって赤い色素を作り出すという自然現象によって、目にも鮮やかな「ピンクレイク」はウエスタン・オーストラリアにいくつか存在する。それらは真っ青な海に近接していることが多く、その見事なコントラストに圧倒される。以前から何がしかのCMやMVなどでもよく使われているから、映像で目にしたという人も少なくないと思う。けれど、この色は是非自分の眼にダイレクトに焼き付けて欲しい、と思わせるほどに独特の景色を作り出していて、それはまるで夢の中のような色彩だ。ヘリツアーなど、空からの景色がお勧め。

Aki/小野一秋 フォトグラファー/CMディレクター/AKIPANオーナー

Website: kazuakiono.com Bakery: akipan.com.au Instagram: aki.akipan



編集後記

▼日本が秋に向う頃、オーストラリアは、ポカポカお天気の春を迎えます。春と言えば、日本人が思い浮かべるのが桜です。近頃毎年、花屋にも並ぶ桜ですが、実は、桜の花ではない事も多く、梅や桃、りんごの花までも、チェリーブロッサムと書いて売られています。こちらでは、同じ種類あつかいですね。桜を覚えているつもりが? はて?どうだったっけ? となってしまうます。もう一度、覚え易い方法で、おさらいしましょう。

【桜の見分け方】

梅、1節に1花、花枝がない。

桃、1節に2花、花枝が短い。

桜、1節に多花、花枝が長い。

ご近所に咲いている、桜のような花は、何だったでしょうか? どうぞ、また観察して下さい。



シドニー日本クラブ役員

名誉会長	在シドニー日本国総領事
相談役	Chalker 和子
会長	渡部 重信
副会長	Costello 久恵
副会長	水越 有史郎
理事	阿部 直子
理事	齊藤 なお子
理事	Hodgkinson 恭子
専門理事	林 さゆり(親睦の会会長)
専門理事	Murn 薫(編集委員会編集長)
専門理事	Costello 久恵(シティ校代表)
専門理事	小柳 淳子(ダンダス校代表)
専門理事	水越 有史郎(教育支援委員会・エッジクリフ校代表)
事務局	松隈 由紀子(事務局長)・Richter 幸子(会計)
監事	岩佐 いずみ(会計監査)・多田 将祐(会計監査)
クラブ代表	シドニーソーラン踊り隊(渡部 重信)
	JCSフラアロハ(Gault 良子)
	ソフトボール部(安達定儀)
編集委員会	マーン薫(編集長)・渡部重信・水越有史郎
	西牟田佳奈・佐藤 薫・大塚藤子・林由紀夫・多田将祐
	坂口 潤・齊藤なお子・大塚るる・松下友紀



投稿原稿募集!

会員の方の生の声を募集しています。本誌を読んだ感想や、誌面に対する注文、会に対しての要望、日頃感じていることなど、何でも構いません。皆さんからの率直なご意見や、誌面に対する感想などが、今後の誌面作りに多いに役立ちます。また、絵や写真、詩、俳句、短歌などでも構いません。お気軽にお寄せください。

原稿は、趣旨を変えない範囲で手を加える場合があります。文字数は最大1000文字です。投稿原稿は、誌面や内容、時期などの都合により掲載を見合わせる場合がありますので、ご了承ください。

告知板について

「告知板」は会員の方が「売ります」「買います」「教えます」など、個人の広告を掲載するコーナーです。会員の方なら、一回に限り無料で掲載できますので、ご利用下さい。

JCSだより原稿送付先

原稿は毎月15日迄に、マーン薫編集長宛に、またはJCS事務局宛に、Email(k.murn@jcs.org.au)か郵送にてお送りください。

JCS事務局連絡先

本誌やJCSに関するお問い合わせは、Japan Club of Sydney Inc.
PO Box 1690, Chatswood NSW 2057 電話:0421-776-052(9時~18時)
Email:jcs@japanclubofsydney.org(松隈由紀子)まで。

会員特典

JCSの会員の皆さんが受けられる特典です。
ぜひ、ご利用ください。



Japan Club of Sydney

甘利会計事務所

Amari Tax & Accounting
Suite 2, Level 2, 88 Pitt Street, Sydney 2000
Phone: (02) 9223-7448
E-mail: info@taxjp.com.au
新規顧客に特典
JCS会員の皆様のタックス・リターン申請・作成に当たり、料金から15ドルを割引いたします。お支払いの際にこのクーポンをご提示下さい。同時にお二人以上で申請される場合にも、1枚で全員に適用できます。

日本ブレンセンターオーストラリア (NBCA)

Suite 23, 9 Milray Street, Lindfield 2070
Phone: 0404-027-407
Email: yamaguchi@nbca.com.au www.nbca.com.au
担当: 人材 加藤、ビザ・翻訳 山口
ビザ・市民権の申請、オーストラリアの出国許可、移民局に提出する戸籍謄本と書類の英語への翻訳をJCSの会員の皆様には20%割引で承っております。長期短期の人材紹介及び人材登録をきめ細かくお世話させていただいております。皆様のご連絡をお待ちしております。

ほんだらけフル・オブ・ブックス

Level 2, 39 Liverpool Street, Sydney 2000
Phone: 02-9261-5225 Email: hondarake@gmail.com
Website: http://fullofbooks.com.au
シドニー最大の日本古書籍買取・販売店。海外にいても手軽に日本の本・CDなど選べる嬉しい店内在庫8万点をご用意しています。買い取りも随時受付中。
JCS会員の方へは、本・CD・DVDのお買い上げを5%特別割引致します。JCS年会費支払いのコピーをご提示下さい。(セール商品や化粧品など一部除きます、ご了承下さい)

そらまめ

Email: classes@soramame.com.au
www.soramame.com.au
Mobile: 0402-961-907
そらまめは、マクロビオティックのクッキングクラスや個人の献立プラン、コンサルテーションも承ります。JCS会員の方には、クッキングクラスとコンサルテーションの費用から1名様\$10割引をいたしますので、お申込みの際にお知らせください。お申込み、お問合せはウェブサイト、またはEmailでお気軽に♪

本誌広告案内

広告締切は毎月15日です。広告(掲載できるアートワーク)を、メールか郵送で、jcs@japanclubofsydney.orgまたはPO Box 1690, Chatswood NSW 2057まで送付ください。

広告スペース	広告サイズ	料金 (1回のみ)	会員割引料金 (1回のみ)	会員割引料金 (6~11ヵ月)	会員割引料金 (12ヵ月以上)
1 ページ	横18cm×縦27.0cm	\$ 220.00	\$ 176.00	\$ 154.00(月額)	\$ 132.00(月額)
1 / 2 ページ	横18cm×縦13.2cm	\$ 132.00	\$ 99.00	\$ 88.00(月額)	\$ 77.00(月額)
1 / 3 ページ	横18cm×縦8.6cm	\$ 99.00	\$ 77.00	\$ 66.00(月額)	\$ 55.00(月額)
1 / 6 ページ	横8.7cm×縦8.6cm	\$ 55.00	\$ 44.00	\$ 38.50(月額)	\$ 33.00(月額)

広告を申し込む際は、上記のサイズ・期間・料金を明記の上、完成された広告(正しい広告サイズで、読みやすく仕上がったアートワーク)を、事務局宛に郵送かメールでお送りください。銀行振込は以下の口座宛にお振り込みください。締切は毎月15日必着です。
※広告内容が本誌に相応しくないと判断した場合、掲載をお断りすることがあります。ご了承ください。
※JCSでは本誌掲載の広告内容に関しては一切責任を負いかねますので、その旨ご了承ください。

会費納入 料金 支払方法

- 会費納入届または広告原稿を小切手と共にJCS事務局まで郵送する場合
小切手の宛名は「Japan Club of Sydney Inc.」をお願いいたします。
郵送先: Japan Club of Sydney, PO BOX 1690, Chatswood, NSW, 2057
- 会費納入届または広告原稿を郵送またはメールで送り、会費を銀行振込する場合
振込時に、登録会員名(フルネーム)と電話番号をDescription/Reference欄に必ず入力して下さい。
お名前がない場合は、支払い元不明で未払い扱いになるためご注意ください。
振込先 Account Name: Japan Club of Sydney Inc. BSB No: 032-002 Account No: 51-3156